



令和2年

プレスリリース研究会 第2期



わずか3枚のシートがマスコミ取材を呼ぶ！

お金をかけない、売上アップ法

プレスリリースの極意が基礎から学べる、3か月連続の実践的な研究会となります。（毎月1回開催：11月～1月）

群馬県よろず支援拠点では、平成29年度よりプレスリリース研究会を開催し、リリースシートの作成を支援してきました。これまで研究会に参加された企業の中からは、実際にマスコミより取材を受け、新聞、雑誌やテレビに取り上げられた実績が**200件以上**（8/25時点）になりました。マスコミに取り上げられることで、問い合わせや集客につながり、売上の拡大や新規取引先の開拓に繋がるなど成果も上がっています。

この度、**好評につき**、本年度2期目のプレスリリース研究会を開催が決定しました。この研究会は、実際に自社の商品・サービスを題材に、プレスリリースシートの作成法や、マスコミに送付先の選定についての学びを参加者同士で行う「**実践型研究会**」になっています。初めての方には、作成マニュアルを通じてノウハウを伝授し、既にスキルを習得されている方には、ブラッシュアップをお手伝いいたします。

「うちの商品をマスコミに取り上げてもらいたい！」「一人では難しいけれど、教えてもらいながらならできるかも？」と思っているみなさん、売上アップを目指して、一緒にプレスリリースを実践していきましょう！

- ◆日時 第1回 2020年 11月13日（金） 13：30-15：30
- 第2回 2020年 12月 8日（火） 13：30-15：30
- 第3回 2021年 1月 8日（金） 13：30-15：30

- ◆会場 群馬産業技術センター 2階 第1研修室
（前橋市亀里町884-1）

- ◆対象 県内中小企業・小規模事業経営者及びマーケティング・営業担当者、個人事業主
- ◆定員 約15名（先着順） ※確認のお電話を差し上げます。
- ◆参加費 無料

【申込み・問い合わせ先】

群馬県よろず支援拠点 / （公財）群馬県産業支援機構

連絡先：027-265-5016 メールアドレス：yoroze@g-inf.or.jp

◆内容 (予定するカリキュラム)

1. 広報の基礎知識 (考え方・やり方・伝え方)
2. 効果的なプレスリリース作成のポイント
3. 成功事例について
4. 一目でわかるコンセプトの作り方
5. TV向けプレスリリースの留意点
6. ブランドとブランディングとは、映像
7. 効果的なプレスリリース作成のポイント
8. マスコミへの情報発信方法
9. 今注目されている、映像ブランディングについて
10. 個人ワーク、グループワーク
(その他 進捗に合わせて変更あり)

- ◆講師 群馬県よろず支援拠点 チーフコーディネーター 小畑 満芳
コーディネーター 中山 一郎、コーディネーター 朝岡 伸江
- ◆対象 県内中小企業・小規模事業経営者及びマーケティング・営業担当者、個人事業主
- ◆定員 約15名 (先着順) ※確認のお電話を差し上げます。
- ◆参加費 無料

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、マスク着用の上、ご参加ください。

※以下の症状をお感じの方は、参加を控えていただきますようお願いいたします。

①風邪の症状がある。②37.5度以上の熱がある。③倦怠感(強いだるさ)がある。④呼吸が困難である(息苦しい)

※研究会開催にあたっては、3密(密閉・密集・密接)を避けるよう、広い会場を用意いたします。

※県内で再び感染拡大がみられた場合、延期・中止となる場合があります。

◆応募条件◆

1. 全3回の研究会に参加できること
2. 自社の商品やサービスなど、プレスリリースを作成したい
題材を具体的に持っていること
3. プレスリリースシートの完成までやり抜く意志があること



【お申込みは、下記の必要事項をご記入いただき、FAXでお願いします。】

申込FAX : 027-265-5075

公益財団法人群馬県産業支援機構 群馬県よろず支援拠点 行

◆申込書◆

会社名	
業種	
住所	〒
役職 / 氏名	/
電話番号	
E-mail	
どちらでお知りになりましたか。	よろずHP・メルマガ・機構HP・DM・その他 ()

●参加希望者定員になり次第締め切ります。

●この申込用紙にご記入いただく個人情報は、当機構が定める個人情報保護の基本方針に則って厳重に管理し、事業のご案内アンケート調査等に利用させていただきます。
官公庁以外に第三者提供はいたしません。

総合受付 : 027-265-5016

公益財団法人群馬県産業支援機構 群馬県よろず支援拠点
前橋市亀里町884-1 群馬産業技術センター 1F